

地域の中核となる大学振興パッケージ策定に向けた 文部科学省の検討状況について

文部科学省 科学技術・学術政策局
産業連携・地域振興課

- n 地域の中核大学が、“特色ある強み”を十分に発揮し、社会変革を牽引する取組を強力に支援
- n 実力と意欲を持つ大学の個々の力を強化するのみならず、先進的な地域間の連携促進や、社会実装を加速する制度改革などと併せて、政府が総力を挙げてサポート
- n 地域社会の変革のみならず、我が国の産業競争力強化やグローバル課題の解決にも大きく貢献

大学の強みや特色を伸ばす取組の強化

- l 基盤的経費や競争的資金（人材育成、基礎研究振興、産学連携促進）による、大学の強みや特色を伸ばす事業間の連携や大学改革と連動した研究環境改善を推進
- l 特定分野において世界的な拠点となっている大学への支援強化
- l 人材育成や産学官連携を通じた地域貢献
 - 地域ニーズを踏まえた質の高い人材育成モデルへの転換支援
 - 産学官連携拠点、スタートアップ創出支援、大学マネジメント人材育成・確保策の充実

繋ぐ仕組みの構築

- l 地域の産学官ネットワークの連携強化
 - 同一地域内に、各府省の事業毎に作られているネットワークを整理し、情報の共有化
 - 地域内・地域横断の組織を繋ぐキーパーソン同士の繋がりを広げ、地域のニーズ発見や課題共有を促進
- l スマートシティやスタートアップ・エコシステム拠点都市などの座組活用
- l 大学の知の活用による新産業・雇用創出や地域課題解決に向け、大学と地域社会とを繋ぐ（社会実装を担う）大学の教職員や、それを伴走支援する専門人材・組織に着目した仕掛け

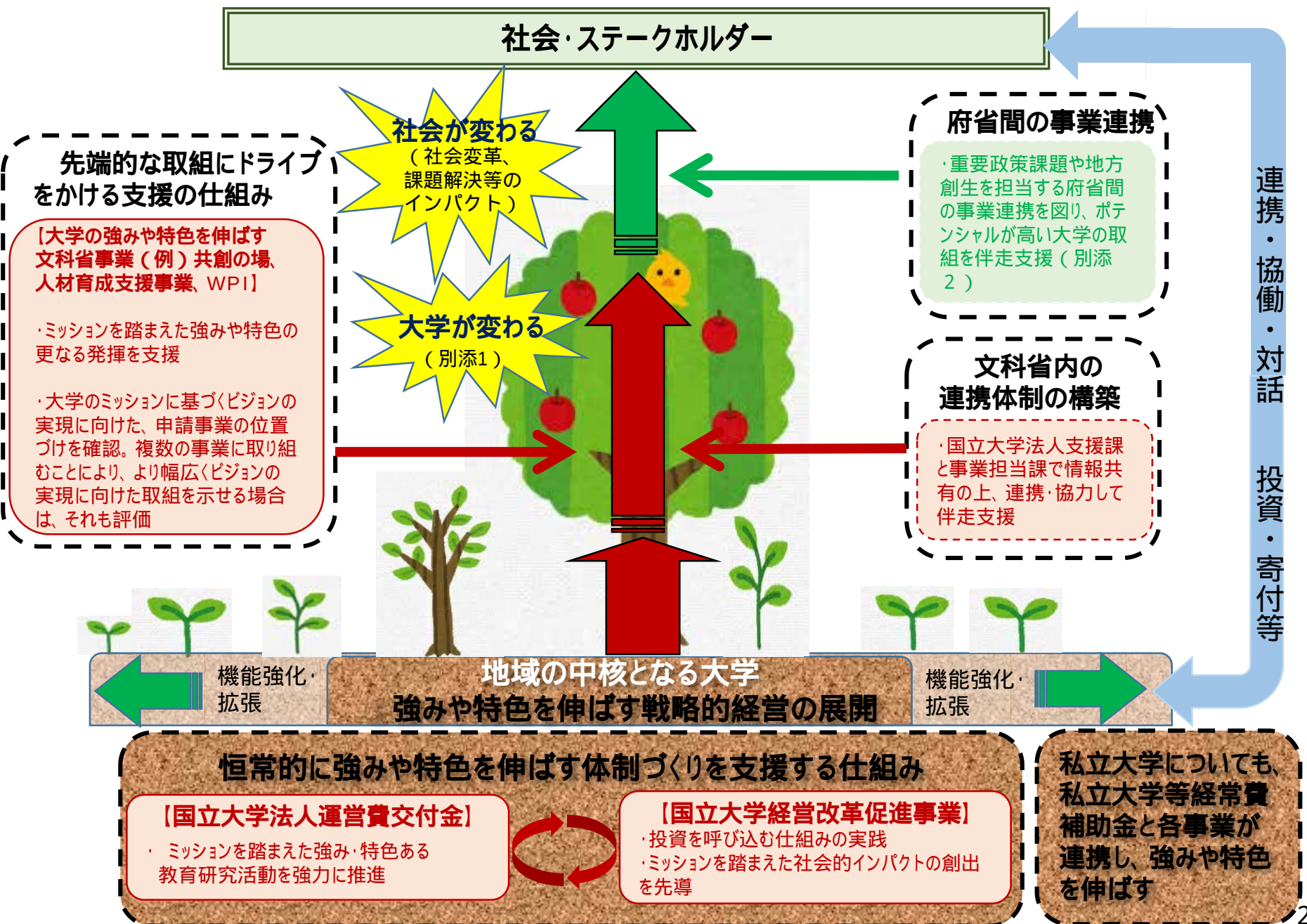
地域社会における大学の最大活用促進

- l 各府省が連携し、地域が大学の知を活用してイノベーションによる新産業・雇用創出や、地域課題解決を先導する取組を一体的に支援
 - イノベーションの重要政策課題や地域課題ごとに事業マップを整理して、社会変革までの道のりを可視化
 - ポテンシャルの高い取組について、情報共有を図りつつ伴走支援
- l 大学への特例措置や特区の活用促進
- l 大学の意識改革
 - 地域等（自治体・社会実装を担う官庁）からの資金を受け入れ、地域貢献を行う大学に対してインセンティブを付与
- l 自治体の意識改革
 - 大学が持つ様々なポテンシャルに対する理解を促進し、自治体を巻き込む仕掛け

『地域の中核大学』を、地域社会の成長の駆動力へと転換

日本の産業力強化やグローバル課題解決にも貢献するような大学の実現へ

地域の中核大学の機能強化に向けた、施策の連携による大学の戦略的経営の推進イメージ



地域の中核となる大学の振興

基本的考え方

「グローバルな課題への対応」と「国内の社会構造の改革」に向けて、「**知と人材の集積拠点**」である多様な大学等の力を伸ばしつつ、**最大限活用**。

特定分野の高い研究力の強化、人材育成や産学連携活動を通じた地域の経済社会、日本や世界の課題解決への貢献のために、**地域の中核となる大学が強みや特色を最大限に活かし、発展できるような大学のミッション・ビジョンに基づく戦略的運営の実現を推進**。

社会実装

産学官連携拠点、
スタートアップ創出支援、
大学マネジメント人材の育成・確保策の充実

人材育成

地域の大学群と産業界・自治体と
一体で、地域ニーズを踏まえた質の
高い人材育成モデルへの転換支援

ビジョン主導の 戦略的運営に 向けた支援

研究で独自色を発揮する取組や
大学改革と連動した研究環境改善を推進

研究

大学や研究者の多様性を活かした、強み・特色を
伸ばす研究環境の整備

大学のミッション実現を下支えするための基盤的経費の改善・充実

共創の場形成支援

17,474百万円 (13,734百万円)
大学発新産業創出プログラム (START)
大学・エコシステム推進型
 2,378百万円 (674百万円)
地域活性化人材育成事業
 2,820百万円 (新規)

- 世界で活躍できる研究者戦略育成事業
- 地域の大学等の研究者を支える研究基盤の整備・活用
- 地域の優れた研究者の研究環境改善や研究拠点の形成
- ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ 等
- 国立大学経営改革促進事業
- 国立大学法人等施設整備費補助金
- 国立大学法人運営費交付金・私立大学等経常費補助金 等

目指す姿

関係府省とも
連携し、大学の
力を伸ばしつつ、
最大限活用
することによる、
「**グローバルな
課題への対応**」
と「**国内の社会
構造の改革**」の
実現

これらの支援による大学の取組について、大学のミッションに基づくビジョンの実現に向けた位置づけと進捗を事業間で共有し、伴走支援する仕組みを構築。中でも、社会実装を志向し成果を上げているポテンシャルの高い取組は関係府省と連携し、大学の価値創造を社会発展・変革に転換。

文科省施策と内閣府「地方大学・地域産業創生交付金事業」との連携について

各地域における大学の知を活用した新産業・雇用創出や、そのために必要な更なる大学改革を促進していくため、文科省の産学連携事業（「共創の場形成支援」等）において、自治体首長のリーダーシップを望め、産業創成・雇用創出につながる取組を内閣府「地方大学・地域産業創生交付金事業」において支援していく。

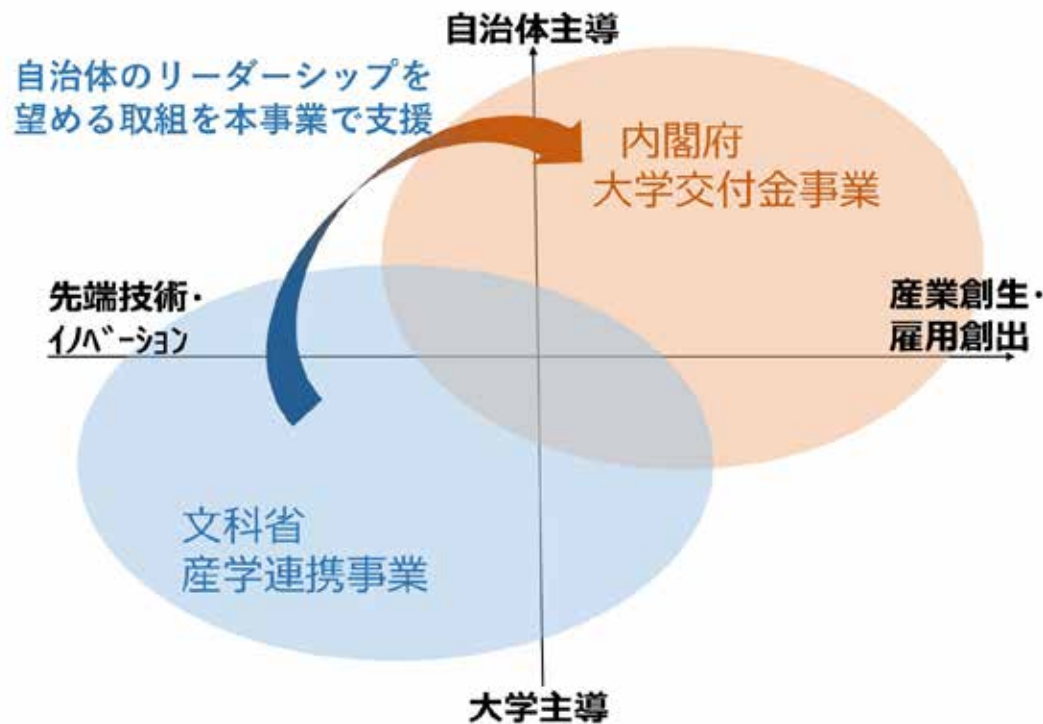
（主な連携内容）

合同での事業説明会を開催

文科省事業の成果を基にした、案件形成を共同で支援

相互の事業担当者の併任

今後、さらに事業間の接続を高めていくための施策を検討



このほか、内閣府（科技）と協力して、イノベーションの主な重要政策課題（地域脱炭素、資源循環、ヘルスケア、自動運転、スマート農業、防災・減災等）ごとに事業マップを整理し、社会変革までの取組に対する支援の道筋を可視化していきたい。

大学研究力強化委員会の設置について

1.. 設置の背景

- ü 今般の文部科学省の組織再編では、その主要な狙いの1つとして、大学、大学共同利用機関の研究力強化のための体制整備を図ることとしており、科学技術に関する研究開発に関する基本的な政策の企画立案・推進を所掌する研究振興局を中心に、大学等の研究力強化に向けた政策を総合的に推進することとしている。
- ü このため、学術に関する研究機関(大学附置研究所、大学共同利用機関等)の研究体制の整備等を所管する学術機関課の所掌範囲を拡大し、大学等の研究全般に関する基本的な政策の企画立案・推進等を分掌させ、令和3年10月1日、名称を「大学研究基盤整備課」に改めるとともに、同課に「大学研究力強化室」を設置。

2.. 大学研究力強化委員会の役割

- ü 大学研究力強化室においては、科学技術イノベーションの源泉となる大学等の研究力強化への要請が特に高まる中、個別大学等の特色・強みに基づく研究の実態を踏まえ、我が国の大学等における研究全体を俯瞰した政策の企画・立案、推進というこれまでの文科省では十分に担うことのできていなかった総合的な政策に関する機能を担うこととなる。
- ü 現在、総合科学技術・イノベーション会議(CSTI)の「世界と伍する研究大学専門調査会」において、大学ファンドの制度設計に向けた検討が進められるとともに、「統合イノベーション戦略推進会議」において、「地域の中核となる大学の機能強化に向けたパッケージ」を今年度中に策定することとされているなど、文科省としても、大学等の研究振興に関する総合施策の実施等に当たって、大学等における科学技術に関する研究開発に関する重要事項について、機動的に調査する必要があることから、科学技術・学術審議会運営規則第6条第1項の規定に基づき、令和3年10月13日、科学技術・学術審議会に以下の委員会を設置。

名 称	大学研究力強化委員会
調査事項	科学技術イノベーションの源泉となる大学等の研究力強化を図るため、大学等における科学技術に関する研究開発に関する重要事項について、幅広い観点から調査検討を行う。

大学研究力強化に向けた主要な取組

「第6期科学技術・イノベーション基本計画」(令和3年3月26日閣議決定)における主な記載

- **大学は、多様な知の結節点**であり、また、**最大かつ最先端の知の基盤**である。大学には、研究人材や研究施設・設備にとどまらず、各種のデータ基盤とその分析機能、産学連携のハブ機能、国際的な知のネットワークなど、**有形・無形の知的資産が存在**しており、学術の中心として、このポテンシャルを様々な形で最大限に活用してSociety 5.0 時代を牽引する役割が求められている。
- 不確実性の高い社会を豊かな知識基盤を活用することで乗り切るため、今後、全ての大学が同一のあるべき姿を目指すのではなく、個々の強みを伸ばし、各大学にふさわしいミッションを明確化することで、**多様な大学群の形成**を目指す。
- 優秀な若者が、アカデミア、産業界、行政など様々な分野において活躍できる展望が描ける環境の中、経済的な心配をすることなく、自らの人生を賭けるに値するとして、**誇りを持ち博士後期課程に進学し、挑戦に踏み出す**。

【具体的取組】

① 大学ファンドの創設

- ü 10兆円規模の**大学ファンドを創設**し、その運用益を活用することにより、世界と伍する研究大学の実現に必要な研究環境の整備充実への支援とともに、大学改革を完遂することにより、我が国の研究大学における**研究力の抜本的な強化**を実現
世界と伍する研究大学をつくるためには「**ガバナンス**」と「**資金力**」がカギであり、大学がしっかりとした経営戦略を立てる体制を構築すべく、大学ファンドの10兆円規模への拡充や必要な制度の検討、**次期通常国会での必要な法改正**を目指す

② 地域の中核となる大学の機能強化

- ü 特定分野の高い研究力の強化、人材育成や産学連携活動を通じた地域の経済社会、日本や世界の課題解決への貢献のために、地域の中核となる大学が**強みや特色**を最大限に活かし、発展できるような**大学のミッション・ビジョンに基づく戦略的運営**の実現を推進
地域の中核大学が特色ある強みを十分に発揮し、社会変革を牽引することができるよう、**振興パッケージを本年度内に取りまとめ**

③ 若手研究者の活躍促進

- ü JST基金への追加措置により、博士後期課程学生による挑戦的・融合的な研究を支援する「**次世代研究者挑戦的研究プログラム**」を新設するとともに、若手を中心とした多様な研究者による挑戦的な研究を最長10年間支援する「**創発的研究支援事業**」を推進
大学ファンドに先駆けて、**博士課程学生の支援を大幅に拡大**

(参考)大学研究力強化委員会の新設

- ü 大学の研究力強化を図るため、2021年度から、文部科学省における**組織・体制の見直し・強化**を進め、第6期基本計画期間中を通じて、国公立大学の研究人材、資金、環境等に係る施策を戦略的かつ総合的に推進
科学技術・学術審議会の下に「**大学研究力強化委員会**」を新設し、関係局課が連携し、幅広い観点から機動的に調査検討